

緑の地球

GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



サントリー労働組合のツアーでは参加者が天秤棒での水汲みに挑戦。

Contents

- 第22回総会のお知らせ P 2
- 中国緑化交流表彰を受けました P 2
- 2016春の大同 P 4～5
- 2016黄土高原スタディツアー参加者募集 P 6

2016.5
169

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク



緑の地球ネットワーク 第22回総会のお知らせ

GENは今年で活動25周年をむかえます。たくさんの人に支えられ、長きにわたり活動を続けてこられたことに感謝いたします。

決して平坦な道ではありませんでしたが、大同の人たちと協力してさまざまな困難を乗り越え、緑化をすすめてきました。そのことで双方の理解がすすみ、絆を深めることができましたと思います。

スタートから25年、中国は大きく変貌を遂げました。日本との関係もだいぶ様変わりし、従来どおりの活動を続けることが困難になってきています。

日本国内であらたな動きもあります。2015年から津波被災地の海岸林再生事業をスタートし、復興植樹祭に参加しました。関東ランチでは西伊豆に国際ボランティア学生協会(IVUSA)の学生が100名規模で参加して黄金崎のマツ再生プロジェクトに参加するなど活発な活動を展開しています。

今回の総会は、前半は講演ではなくシンポジウム形式でおこないます。GENのこれまでの活動を振り返るとともに、この経験をどう生かしていくか、

今後の活動のありかた、可能性などについて話し合う場にしたいと思います。

活動が大きな曲がり角を迎えるこの時期、総会はみなさんの忌憚ない意見を交換できる場ですので、ぜひご参加いただくようお願いいたします。

会員のみなさんには後日資料をお送りします。

【緑の地球ネットワーク

第22回総会】

○日時：6月11日(土) 13時30分～16時40分

○シンポジウム：13時30分～15時 『GENのこれまでの25年と今後』

◇パネリスト：前中久行(GEN代表)、高見邦雄(GEN副代表)、東川貴子(GEN事務局長)

○会員総会：15時20分～16時40分

○場所：大阪市立西区民センター第4会議室(大阪市西区北堀江4-2-7 tel.06-6531-1400 地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線「西長堀」駅から徒歩)

* * * * *

【会員総会後の懇親会のお知らせ】

◆会場：台湾料理 味軒 阿波座店

◆時間：17時～19時まで

- ◆参加費：3,200円
- ◆申込み：6月8日(水)までにGENまで。会員以外も参加できますのでお気軽にご参加ください。



GEN25周年 イベントを 北京で開催します

緑の地球ネットワーク25周年を記念して北京でイベントをおこないます。スタートから4半世紀にわたる黄土高原での緑化活動を振り返り、日中で協力して緑化に取り組んだ軌跡をたどるとともに、今後の活動への弾みにつなげていきたいと思っています。

日程は8月31日(水)です。北京在住のかたはもちろん、その他の地域からも参加をお待ちしています。

スタディツアーの日程に組み込まれていますので、ツアー参加者は北京でのイベントに参加できます。参加をご希望のかたはGEN事務所までご連絡ください。

表彰された10団体以外にも、日本で中国の緑化に関わっている民間団体はたくさんあり、中国大使館は今後も関係団体と連絡をとりながら、緑化協力事業をさらに推進したいということでした。(東川)



表彰式で挨拶する高見副代表

報告 成長がたのしみな郷の棚田

細野 圭一 (GEN 会員)

4月3日、GEN自然と親しむ会「泉佐野丘陵緑地で郷の棚田活動 懐かしい作物や花などを植えて楽しむ」をおこない、16名が参加しました。黄花草などの栽植のあと、自然観察を楽しみました。

バブルが弾けたおかげで出来た(?) 19番目の府立公園、泉佐野丘陵緑地。地域や各種団体との縁を育てながらの活動の一環である「郷の棚田プログラム」に今年度からGENも応募しての活動に初めて参加しました。

場所は阪和自動車道、泉佐野インターの南に広がる一帯、すぐそばを関空への連絡道路が伸び関空も見通せる丘陵地にありました。

管理事務所で公園の概要説明を職員の方から受けたあと、公園の一角にある郷の棚田9枚のうち、下から4枚目の畑(120㎡か?)に移動して作業開始。圃場は公園事務所によってすでにあらかた整備されている状態にありました。すでに仮植えしてある黄花草

を株分けして植え付け、また、高見さんが持ってきた野生のニラとミョウガの植え付け、コットンやオシロイバナ、タチアオイの種まきなど、1時間ほど作業をしました。

終わってみるとそれなりに手を加えた棚田らしく仕上がっており、これからの成長のたびごとの様子が楽しみになりました。

植え付けられてまだ日が浅い芝生広場でめいめい昼食をとったあと、まだ一部工事中の園内を前中代表の案内で小一時間巡りました。季節になれば、ササユリやホテルも見られるとか。大阪南部の地域を

活かした特色ある公園づくりを進めていただきたいと思いました。

当初予想されていた雨にもあわず、作業にも汗ばむことなく快適な花曇りの一日でした。



雨に降られずに植え終えることができました

いますぐできるGENへの協力

■会員の輪をひろげよう!

緑の地球ネットワーク会費(年額)	
一般会員	12,000円
家族会員(同居の家族2人目から)	6,000円
学生会員	3,000円
ジュニア会員(中学生以下)	1,000円
団体会員	12,000円
賛助会員	100,000円

※会費は会報購読料を含んでいます。

■会報を購読してください!

GENの活動に関心はあるけれど会員になるのはちょっと、という方は、会報『緑の地球』を購読してみませんか。年間購読料2,000円。

■緑化基金、運営カンパもとむ

金額は自由です。GENへの寄付は、寄付控除の対象となります。また、緑化基金、運営カンパの別を問わない用途自由のご寄付も受け付けます。その場合、必要に応じて使わせていただきます。

*緑化基金の20%は事務管理費になります。

■絵はがき『黄土高原の花』
8枚組・300円(送料別途。5セット以上送料無料)

■書き損じはがきを集めています
書き損じはがき、古い未使用のはがきを集めています。通信費にあてます。

■未使用切手・古切手を集めています
普通切手、記念切手、外国切手なんでもOK。周囲を1cmほど残して切り取ってお送りください。

■ボランティア募集

会報発送や事務所の手伝いなどのボランティアを随時募集しています。ボランティア可能な曜日、時間帯をご連絡ください。来ていただきたいときにGEN事務所から連絡します。

* * * * *

【GENへの寄付は税制上の優遇措置を受けられます】

緑の地球ネットワークは所轄庁(大

阪市)に認定された認定NPO法人です。(期限は2019年4月8日まで)。

GENへの寄付は、所得控除あるいは税額控除を受けられます。対象となるのは2,000円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業(法人)からの寄付金は、一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定NPO法人に寄付すると、相続税の課税対象から除外されます。

GENの場合寄付金となるのは、緑化基金、運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち1口を超える部分、賛助会費から12,000円をひいた金額です。

また、大阪府民、市民のかたは大阪府と大阪市の個人住民税控除を受けることができます。くわしくはGENまでお問い合わせください。

中国緑化交流表彰を受けました

4月5日、東京の駐日中国大使館で中国緑化交流表彰式がおこなわれました。

1986年から南京で植樹と手入れを続けてきた南京大虐殺被害者追悼植樹中団をはじめ、田主丸町緑の応援団、イオン環境財団、世界の砂漠を緑で包む会、日中友好技術人材交流協会、日中友好21の会、内モンゴル緑化の会、西日本新聞ハチドリ隊、公益財団法人あすて、緑の地球ネットワークの10団体が、長年中国の緑

化植樹事業に携わってきたとして表彰されました。各団体の関係者など約120人が出席しました。

表彰式で程永華大使は中国の緑化の歴史と現状、日本との関わりについて話され、ご自身が訪れたことがある大同での経験を紹介されました。日中戦争の被害が大きかった大同の農村で、村長が高見さんのことを親しげに「老高」と呼ぶのを聞いて、民間の緑化協力が相互理解と友好的感情を深めてきたと感じられたそうです。



～2016 春の大同～

2016年の春、GENのワーキングツアーは催行できませんでしたが、サントリー労働組合（7名）、長春外国語学校第63届小学校日本語班の同窓会（9名）が大同を訪れました。植樹に汗を流すほか、小学校での子供たちとの交流を深めました。参加者からの報告を掲載します。

価値観を揺さぶる体験

宮地 邦彦さん（サントリー労働組合）



「緑の地球環境センター」では、高見先生にこれまでの取り組みを説明していただくとともに、人生で初めての植樹を体験しました。実際に植樹をしてみることで、高見先生をはじめGENさんのゼロから始めた緑化への取り組みの、想像を絶するであろう苦勞と多大なる功績を感じることができました。

昨年に引き続き、サントリー労働組合として2016年4月18日～20日、黄土高原ワーキングセミナーに参加しました。

遠く離れた大同の地で、実際に体感することでしか知ることができない、多くの気づき・学びを得られる貴重なセミナーとなりました。

初日は「緑の地球環境センター」にて施設の見学と植樹活動をおこないました。その後、カササギの森の見学にいきました。



新華社のビデオ取材を受けました

の機会を頂きました。まず小学生から学年毎に、歌などの歓迎のだしものを披露してくれました。私たちからもお返しとして、一緒に踊れるダンスをレクチャーしながら最後は子供たちと一体になってダンスを踊りました。一緒に交流するなかで、子供たちのキラキラした目の輝きに心を奪われるとともに、何かこの子供たちの力になれることはないかと、「今、そしてこれから私たちにできること」を考えさせられるきっかけとなりました。

今回黄土高原ワーキングセミナーに参加してみて、まずはGENさんの25年に渡る活動の成果を体感することができ、またほんの僅かではありますが、その活動に携われたことを誇りに思い



交流した天鎮県の子供たちと一緒に記念撮影

ます。また、植樹や小学校訪問等を通じて、日本から来た見ず知らずの私たちに親身に迎え入れて頂いた現地の方々との国境を越えた交流は何にも代えがたい経験となり、これまでの価値観を揺さぶられるものでした。

今回の気づき・学びと出会いをこれからも大切に、明日の自分に繋げていきたいと思います。あらためて今回のセミナーでお世話になった皆さまに感謝申し上げます。

小松樹 快長大

（早く大きくなーれ！小さな松よ）

李 建華さん（北京同心社文化有限公司）

中国の黄土高原緑化協力事業に今まで25年も献身的に取り組んできた緑の地球ネットワーク・高見邦雄さんらの活動に共鳴し、長春外国語学校小学日本語班のわがクラスメート一同は心ばかりの協力金を寄付しながら、2006年から5年ごとに自弁で大同まで出かけ樹を植えつけた。

一回目は2006年のGW休暇を利用して、天命を知る年になった一行13人は2001年に実験林場としてスタートした「カササギの森」に、汗を流しながら二百数十本の松の苗を植えた。のち中国駐日大使になった程永華さんは「顔が汗と埃にまみれながらも、心で少しは環境保全の力添えになったと満足感を覚えている」と本誌に寄せた『有

きいものは1mにもなったその成長ぶりが目に入るや、疲れはどこかへ飛んでしまった。「5年後我われは還暦になるが、緑いっぱい覆われる大地になれば、これに勝る喜びはなかろう」と、班長の宮宏光さんが感慨深げに述べた。

そういわれた5年は白駒過隙の如く、あっという間に還暦過ぎの今年4月になって三回目。福州や長春からも参加者があって9人の構成だった。高見さんの協力事業を成功に導いた大切な存在の



2011年 カササギの森に高見さんを囲んで

る思いだけだだけに、高ぶる心を抑えきれなかった。同じ気持ちからだろうか、みんなが植樹記念碑を囲んで小学生の時代に覚えた『小松樹』を合唱した。



2006年 カササギの森で松の苗を植える程永華さん（写真左）意義なメーカー』（『緑の地球』2006年7月号に寄稿してくださいました）に、こう感想を述べた。同じ大地に汗を流したこの感慨が奇しくも、10年後に緑の地球ネットワークへの中国緑化交流表彰授与に結実した。

二回目は2011年に11人の構成。ちょうど新しい拠点「緑の地球環境センター」への移転統合にあたる超多忙の時期にぶつかった。数万本もある苗、なかには樹高1m以上の苗だけでも2万本を、限られた移植の適期に移植することで大変だったが、それに巻き込まれて半日働いただけにもかかわらず、疲れに疲れた。でも5年前に「カササギの森」に植えたマツの苗が50cm、大

カウンターパート武春珍さんをはじめ大同事務所の皆さんに暖かく迎えられ、再会の喜びを分かち合い話が弾んだ。植樹は本格的にやってもらっても無理という配慮から、緑の地球環境センターで七・八年育ちの苗十数本だけを移植させてもらった。また、10年前に植えた木に一刻も早く会いたい気持ちを察知してく

れたようで、片付け終えてすぐカササギの森に向わせてくれた。さすが武春珍さんだ。しかし、「カササギの森」に植えたマツ苗の成長は申し分なく立派なものだ！ なかには私たちより背が高いマツもあった。当時を振り返れば、あんなちっちゃい苗で、この荒涼たる大地に、いつになったら大きくなるか、気が遠くな



2016年 ほら、松苗はこんなに大きくなった！



**万博記念公園
みんなで自然調べ隊！**

万博記念公園の昆虫や野鳥、植物について講師に学びながら観察・記録し、自然環境づくりに生かします。

- 日程:5月21日「野鳥」/6月11日「水辺の生きもの」/7月23日「チョウ・トンボ」/10月18日「キノコ」/11月19日「どんぐり・紅葉」/1月14日「冬の野鳥①」/2月18日「冬の野鳥②」
- 時間:10時~12時30分ごろ
- 場所:万博記念公園内自然文化園・日本庭園
- 定員:20名(先着順)
- 参加費:各回大人300円・中学生以下100円、別途入園料250円/回が必要
- 問合せ・主催・申込み:ハガキ、fax、e-mail、電話で氏名、年齢、性別、住所、電話番号、「万博係」を記載のうえ、下記までご連絡ください。
公益社団法人 大阪自然環境保全協会
〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-9-13

*当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。
*当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

ハイム天神橋 202 tel 06-6242-8720
fax 06-6881-8103 e-mail office@nature.or.jp

**知ろう！学ぼう！
大阪南港エコフェスタ**

- 廃材を使った工作、発電体験や夢の自転車試乗会のブース、地場野菜即売会など、環境についてのたのしく学べます。
- 日時:6月4日(土)11時~16時
 - 会場:ATC ITM 棟セントラルアトリウム(2階)/おおさかATCグリーンエコプラザ(11階)
 - 内容:環境学習・体験ブース、おおさかのマスコットキャラクター隊集合、会場内スタンプラリー、ステージイベント、電力自由化に関するセミナーなど
 - 参加費:無料(一部有料ブースあり)
 - 主催:大阪府、大阪市、豊かな環境づくり大阪府民会議、なにわエコ会議、おおさかATCグリーンエコプラザ
 - 問合せ:大阪府環境農林水産総務課企画グループ tel.06-6210-9543

**おいしいたまねぎの
ご案内**

土佐の初夏の味、たまねぎはいかがですか。残念ながら小夏はありません。楽しみにしていたかた、また来年におねがいします。

- ◎おいしい玉葱(低農薬、有機肥料)
白たまねぎ 5kg 2,000円
※送料別途 関東860円 関西650円(20kgまで)
※売り上げの一部をGENに寄付していただいています。ご注文の際は『GENの紹介』とひとことそえてください。
【注文先】田中農園 田中隆一さん
〒781-7412 高知県安芸郡東洋町河内203 (tel./fax.0887-29-2500 e-mail tanakan3@cronos.ocn.ne.jp)

編集後記

GEN事務局の河本です。4月から復職しました。約半年間休んでいた間の埋め合わせをすべく、はりきって会報づくりをしていきますので今後ともよろしくお願ひします。